

SmartVR

パートナーマニュアル



①撮影機材表

②機材組み立て方法

③撮影方法

④撮影時の注意点

⑤制作フォルダ

⑥指示書

⑦撮影図面

⑧撮影・公開フロー

① 撮影機材表

機材各種	品名	指定／推奨
カメラボディ	Canon EOS 80D	推奨
パノラマヘッド	Ultimate R1 Adjustable Tilt/RD5	指定
水平器	R1/R10 External Level (F6113)	指定
リングクランプ	Lens ring for R20 Sigma 8mm Canon Mount V2	指定
魚眼レンズ	Sigma 8mm F3.5 EX DG (キャノン用)	指定
三脚	Manfrotto プロ三脚 190シリーズ アルミ 3段 MT190XPRO3	推奨
自由雲台	Manfrotto 496RC2	推奨
三脚+自由雲台 セット商品	Manfrotto 294カーボン三脚3段+RC2付きボール雲台キット	推進
リモートスイッチ	ご利用されるカメラに合わせたもの	指定
カメラバッグ	指定なし	推奨
SDカード	指定なし	推奨
予備バッテリー×3	指定なし。電池切れ対策で購入をお勧めいたします。	推奨
レンズペン	指定なし	推奨
レンズクロス	指定なし	推奨
プロアー	指定なし	推奨

① 撮影機材表

使用機材



カメラボディー



リモートスイッチ



魚眼レンズ
SIGMA 8mm F3.5
EX DG CIRCULAR FISHEYE (キヤノン用)



レンズリング
Lens ring for R20
Sigma 8mm Canon Mount V2



MT190XPRO3



パノラマヘッド
R1 Adjustable Tilt/RD5



水平器
R1/R10 External Level (F6113)



キャリーバック



バッテリー×3



Manfrotto 496RC2



SDカード



レンズペン



ブロアー



レンズクロス

- ①撮影機材表
- ②機材組み立て方法
- ③撮影方法
- ④撮影時の注意点
- ⑤制作フォルダ
- ⑥指示書
- ⑦撮影図面
- ⑧撮影・公開フロー

② 機材組み立て方法

レンズ・レンズリングの設定について

①



魚眼レンズをM(マニュアル)に設定します。

②



魚眼レンズのフォーカスを0.5mに設定し、セロハンテープで固定します。

③



内リングつなぎ目

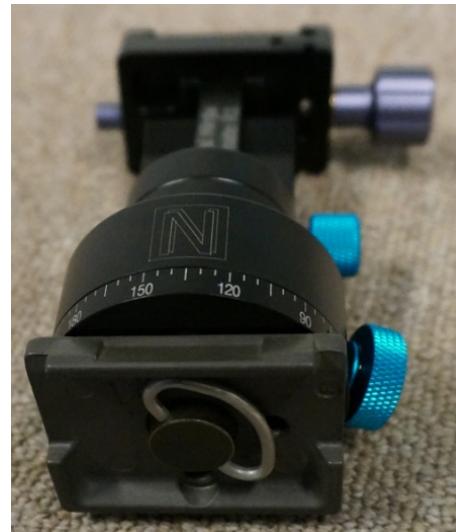
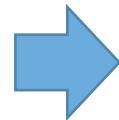


レンズリングは、内リングのつなぎ目が金具の中心にくる様取り付けます。
カメラを縦にし、水平になるよう取り付けて下さい。



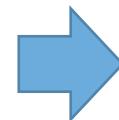
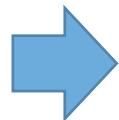
② 機材組み立て方法

三脚の設定について



雲台に付属されているプレートアダプターをパノラマヘッドに取り付けます。

外付けの水平器をパノラマヘッドに取り付けます。



三脚を立てます。

三脚に雲台を取り付けます。

雲台の上にパノラマヘッドを取り付けます。

② 機材組み立て方法

自由雲台について

雲台のピンを手前に引くとグレーのノブが動きます。



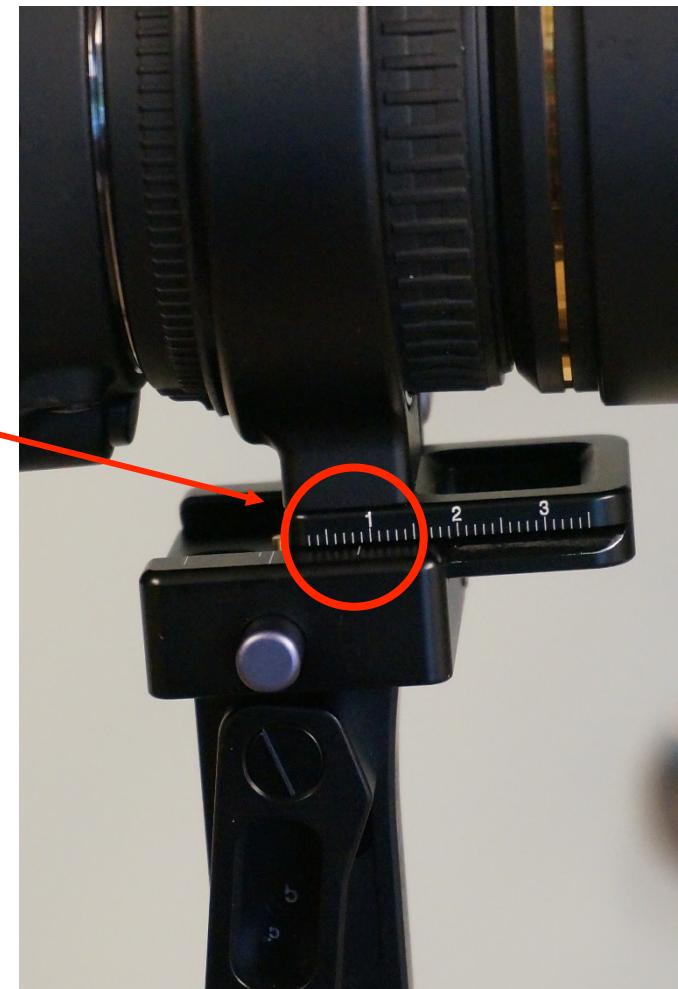
グレーのノブをカチッと音が鳴るまで回します。



② 機材組み立て方法

カメラの取り付けについて

カメラをパノラマヘッドに取り付けます。中心のメモリが0.85になっていることを確認してください。



② 機材組み立て方法

パノラマヘッドの設定

雲台にパノラマヘッドを取り付けたら、パノラマヘッドの調整を行います。

1. 上部にあるノブを調節して、パノラマヘッドの角度を7.5に合わせて固定します。



2. 下部にある大きいノブを調節して、回転角度を0の位置に合わせます。



3. 下部の小さいノブを36°の位置に差し込みます。

36°ずつ回転するので、10回の撮影で一周となります。

※ノブを締めすぎると、回転が硬くなります。撮影の際、適度な調整が必要です。



- ①撮影機材表
- ②機材組み立て方法
- ③撮影方法**
- ④撮影時の注意点
- ⑤制作フォルダ
- ⑥指示書
- ⑦撮影図面
- ⑧撮影・公開フロー

③ 撮影方法

三脚とカメラの設置

- 通常は目の高さになるよう、150cm～160cmに設定しますが、状況に合わせて高さを自由に変更しても問題ありません。
- 三脚の一部が写らない様、三脚の脚を絞って設置します。ファインダーを覗いて、三脚が写り込まないことを確認してください。
- 階段や坂など不安定な場所で撮影する場合、転倒の恐れがあるので、三脚も水平を保つよう心がけてください。

三脚のラベルが手前に来るよう設置します。

通常は2段目だけを伸ばします。

レンズに三脚が写り込まない様、脚の幅を絞ります。



③ 撮影方法

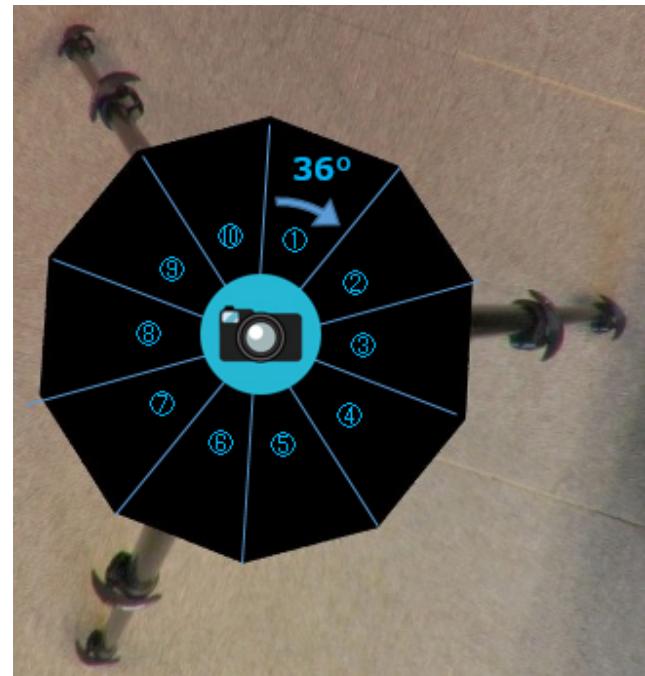
- ・ カメラの設定が完了したら、自由雲台を動かしながら、パノラマヘッドを水平に調整します。
- ・ パノラマヘッドを36°ずつ回転させながら10方向撮影します。
- ・ 撮影の際、三脚を動かさないよう注意してください。三脚が動いてしまったら、再度始めから撮影してください。
- ・ 被写体となる人物が写り込む場合、なるべく動かないよう注意を促して下さい。被写体が動いてしまうと、重複やブレの原因となります。
- ・ 1回のシャッターで暗い・普通・明るいの3枚の写真を撮影します。
- ・ パノラマヘッドを回しながら図のように①～⑩まで1周撮影します。記録される写真の枚数は1周で30枚となります。
- ・ PANOズレや逆光で生じる明暗など、再撮影が必要となる場合がありますので、予備の写真を撮影して頂く事をお勧めします。

1つのシーンを2周ずつ撮影してください。

2周目を撮影する際は、再度パノラマヘッドの水平を確認してください。



撮影前に必ずパノラマヘッドの水準器で水平の確認を行います。



カメラ設定

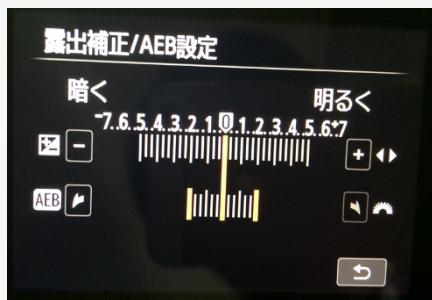
Av 絞り優先



絞り値
F8.0



露出補正
普通・暗い・明るい
3枚撮影

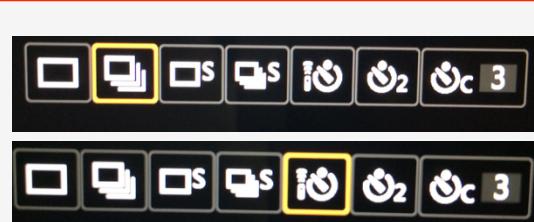


ISO設定

100	晴天時などの明るい場所で撮影するときに適しています。
200	
400	曇り空や明るい室内で撮影するときに適しています。
800	夕方など、やや暗い状況で撮影するときに適しています。
1600	暗い室内や夜景など、暗い場所で撮影するときに適しています。
3200	暗い場所で被写体ブレを防ぐ（軽減する）ときに適しています。

ISOの値を上げるとシャッタースピードが上がりますが、画質が落ちるので注意してください。

通常シャッター



セルフタイマー

- ①撮影機材表
- ②機材組み立て方法
- ③撮影方法
- ④撮影時の注意点**
- ⑤制作フォルダ
- ⑥指示書
- ⑦撮影図面
- ⑧撮影・公開フロー

④ 撮影時の注意点

単色の場所を撮影する際

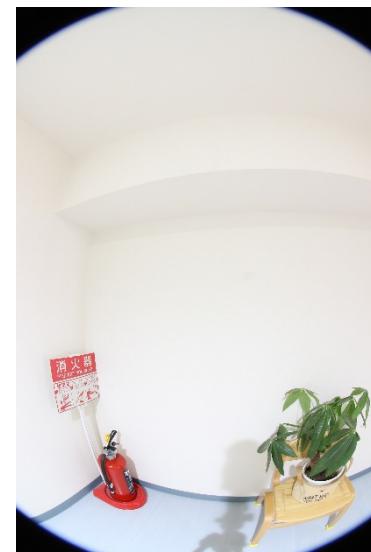
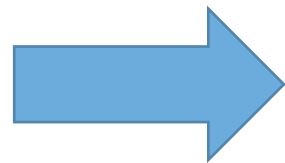
天井や壁が一色、あるいは濃淡や柄もないような通路や部屋を撮影する場合、接合点が認識できず、パノズレが生じる場合があります。

真っ白い部屋、または単色の場所を撮影する際は、接合点となるような対象物（例：植木鉢や椅子など）を配置して、なるべく接合点ができるよう心がけてください。

※大きなパノズレやパノラマ写真が制作できない場合は再撮影となります。



初回撮影時



再撮影時



単色の部屋を撮影する際、接合点となるような対象物を配置してください。

④ 撮影時の注意点

不安定な場所での撮影

木製の床、畳、芝生など、自らの体重で床が沈む場合があります。不安定な場所での撮影では、水平が取りにくく、三脚の周りを動く度に水平が狂ってしまう場合があります。このような場合、振動や重さが影響しない場所を探して三脚をセットしてください。撮影前に、三脚の周りに体重をかけ、水平器を見ながら床の沈み具合を確認することをお勧めします。

※大きなパノズレやパノラマ写真が制作できない場合は再撮影となります。



畳



木製床

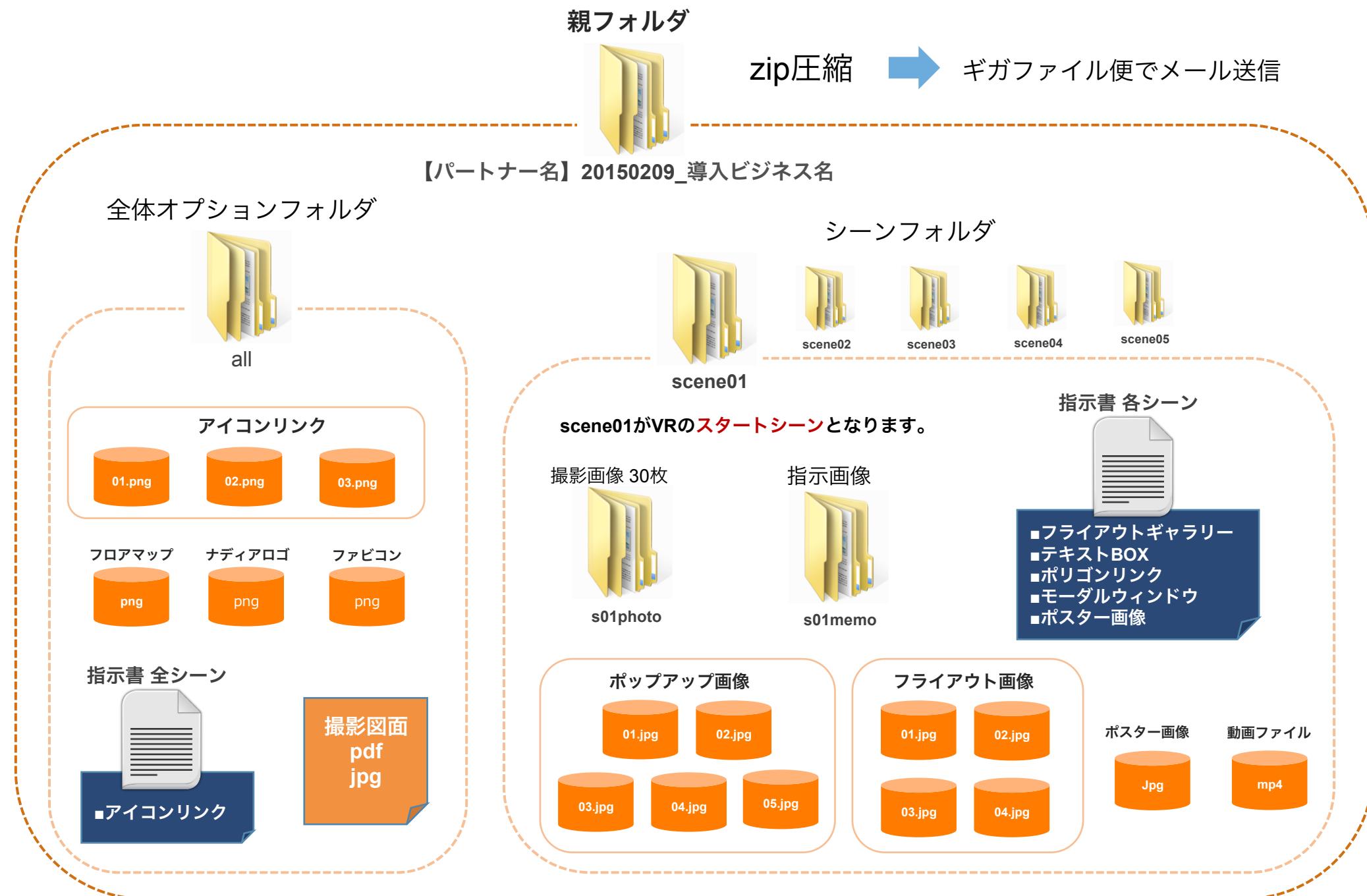


コンパネで張り合わせた床

- ①撮影機材表
- ②機材組み立て方法
- ③撮影方法
- ④撮影時の注意点
- ⑤制作フォルダ
- ⑥指示書
- ⑦撮影図面
- ⑧撮影・公開フロー

⑤ 制作フォルダ

フォルダ内 構図



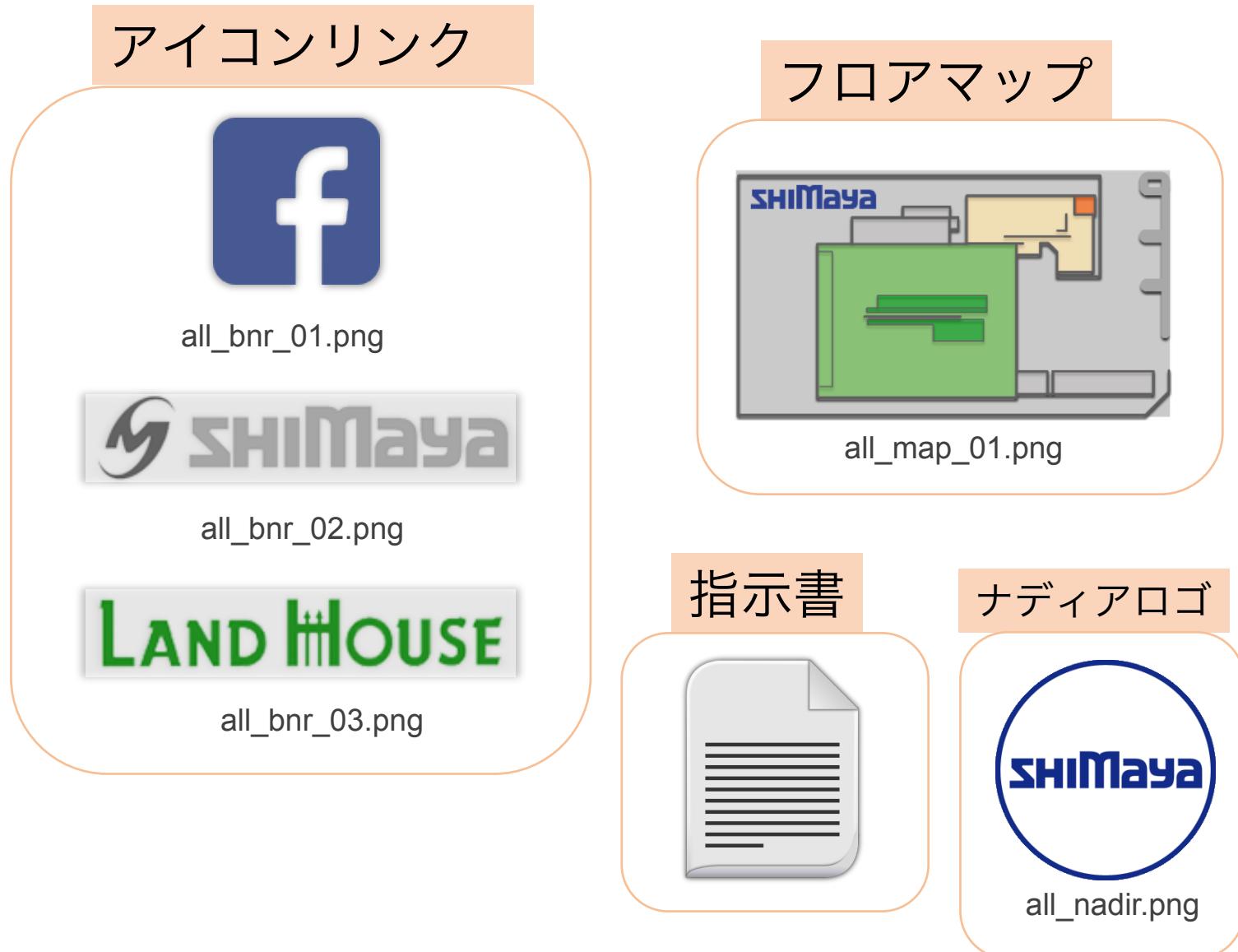
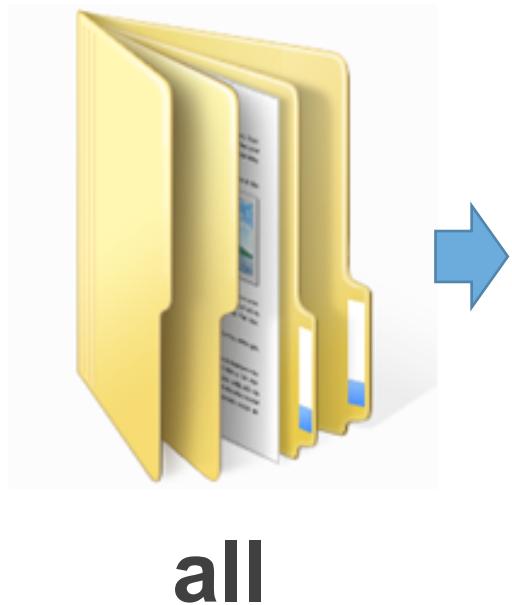
⑤ 制作フォルダ

ファイル名 記載表

オプション名	指定ファイル名	ファイル名 表記例 全体	ファイル名 表記例 シーン1	ファイル名 表記例 シーン2	
ポップアップ画像	pu		s01_pu_001.jpg s01_pu_002.jpg s01_pu_003.jpg 1 アイコンにつき10枚まで	s02_pu_001.jpg s02_pu_002.jpg s02_pu_003.jpg 1 アイコンにつき10枚まで	
ポップアップムービー	pumov		s01_pumov_001.mp4 1 シーンにつき複数可能	s02_pumov_002.mp4 1 シーンにつき複数可能	
スクリーンムービー	scrmov		s01_scrmov_001.mp4 1 シーンにつき1つまでとなります。	s02_scrmov_002.mp4 1 シーンにつき1つまでとなります	
アイコンリンク	ilink	all_ilink_01.png all_ilink_02.png all_ilink_03.png 複数表示可能	各シーンごとに異なるバナーアイコンを表示させることも可能です 例) s02_ilink_04.png		
フライアウトギャラリー	fly		s01_fly_01.jpg s01_fly_02.jpg s01_fly_03.jpg s01_fly_04.jpg	s02_fly_01.jpg s02_fly_02.jpg s02_fly_03.jpg s02_fly_04.jpg	
フロアマップ	map	all_map_01.png			
ファビコン	favi	all_favi.png			
ナディアロゴ	nadir	all_nadir.png			
ポスター画像	pst		s01_pst_01.jpg s01_pst_02.jpg s01_pst_03.jpg 複数表示可能	s02_pst_01.jpg s02_pst_02.jpg s02_pst_03.jpg 複数表示可能	
テキストBOX	指示書に文面を記入してください	全体適応可能	各シーンごとに異なるテキストBOXを表示させることも可能です		

⑤ 制作フォルダ

全体オプションフォルダ 株式会社 島屋 イメージ



⑤ 制作フォルダ

シーンフォルダ 株式会社 島屋 イメージ



⑤ 制作フォルダ

制作フォルダについて

フォルダ分け定義は下記の通りとします

- photoフォルダには、30枚（1シーン分）を保存してください。
- ファイル名は英数字、半角で入力してください。
- 各オプション名は必ず構図の名称と同じにしてください。
- 必ず親フォルダを圧縮（.zip）してください。

親フォルダ名について

「親フォルダ名」は以下のように表記してください。

【パートナー名】撮影日_導入ビジネス名

例：【インスタイル】20160929_株式会社 島屋

⑤ 制作フォルダ

指示画像について

撮影された画像から、PowerPointでオプションに関する指示画像を作成してください。

■ポップアップ画像の仕様について

- ・1枚の場合はjpg画像がそのまま画面に表示されます。
- ・2枚以上になる場合は、背景に横スライド用のレイヤーが表示されます。

例) 株式会社島屋 シーン3



<http://vr-ex.net/shimaya/tour.html>



⑤ 制作フォルダ

ファイル名の付け方

各シーンの番号（2桁）

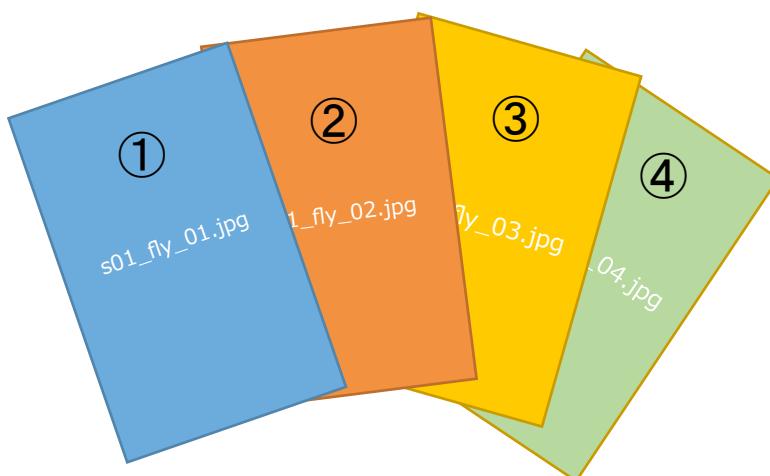
指定オプション名

ファイル番号

シーン番号 _ 指定ファイル名 _ 番号

■ フライアウトギャラリー

→ ファイル番号が若い順に上から並びます。



■ ポップアップ画像

→ ファイル番号が若い順に右へスライド表示されます。



ポップアップ画像やフライアウト、アイコンリンクなど、数字の配列で順に表示されます。

Flexible Renamer (ファイル名一括変換ソフト 無料)

ダウンロード

<http://www.vector.co.jp/soft/dl/winnt/util/se131133.html>

使い方紹介ページ

<https://hep.eiz.jp/201504/flexible-renamer/>

ファイル名変更ソフトについて

指定ファイル名に変換する際に、付加した文字列を記憶するため、よく使うファイル名が
多くなる場合に便利です。

リネームする際に必ず大元のファイル（フォルダ自体が望ましい）をコピーしてバックアップを取っておくことをお勧めします。

間違ってリネームしてしまうと、指示書と違う名前で保存されてしまうので、慣れるまではバックアップを取りながらリネームすることをお勧めします。

また、上記紹介したソフトは指定ではありませんので、適宜指定ファイル名にして頂いてもかまいません。

- ①撮影機材表
- ②機材組み立て方法
- ③撮影方法
- ④撮影時の注意点
- ⑤制作フォルダ
- ⑥指示書
- ⑦撮影図面
- ⑧撮影・公開フロー

⑥ 指示書

例) シーンごと

シーン名： 社長室

指示画像番号	オプション名	ファイル名	リンク先URL
①	ポリゴンリンク		http://www.sanfrecce.co.jp/
②	スクリーンムービー	s03_scrmov_001.mp4	
③	ポップアップ画像	s03_pu_001.jpg s03_pu_002.jpg s03_pu_003.jpg s03_pu_004.jpg s03_pu_005.jpg s03_pu_006.jpg s03_pu_007.jpg	
④	ポスター画像	s03_pst_01.jpg	http://www.shimayas.co.jp/shopping/
⑤	フライアウトギャラリー	s03_fly_01.jpg s03_fly_02.jpg s03_fly_03.jpg s03_fly_04.jpg	

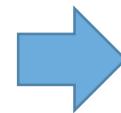
■ファイル名について

- ・画像や動画などのファイル名は、シーン名／オプションの種類／順番など、制作にそのまま反映されます。
- ・ファイル名が重複しないようご注意ください。

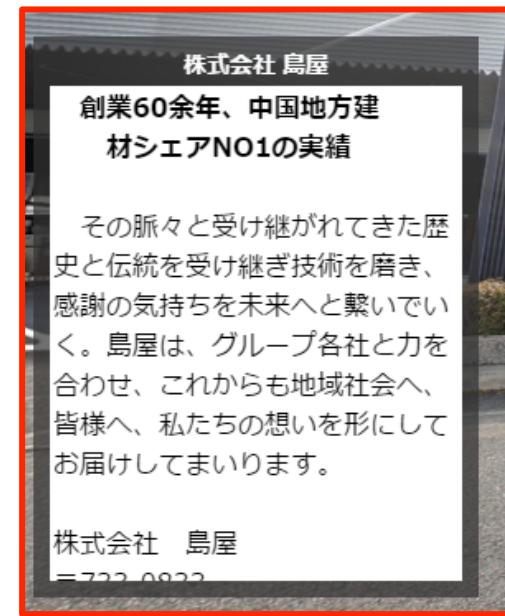
⑥ 指示書

例) シーンごと

テキストBOX	
適応シーン	スタートシーンのみ
タイトル	株式会社 島屋
サブタイトル	創業60余年、中国地方建材シェアNO1の実績
本文	<p>その脈々と受け継がれてきた歴史と伝統を受け継ぎ技術を磨き、感謝の気持ちを未来へと繋いでいく。島屋は、グループ各社と力を合わせ、これからも地域社会へ、皆様へ、私たちの想いを形にしてお届けしてまいります。</p> <p>株式会社 島屋 〒733-0833 広島県広島市西区商工センター6-8-58 (082)277-1133 (代) 《FAX》 (082)278-2240</p>



完成イメージ



⑥ 指示書

例) 全シーン

オプション名	ファイル名	リンク先URL
アイコンリンク	all_bnr_01.png	https://ja-jp.facebook.com/shimayas/
	all_bnr_02.png	http://www.shimayas.co.jp/metalshimaya.html
	all_bnr_03.png	http://www.shimayas.co.jp/landhouse.html
ナディアロゴ		http://www.shimayas.co.jp/tekko.html

- ①撮影機材表
- ②機材組み立て方法
- ③撮影方法
- ④撮影時の注意点
- ⑤制作フォルダ
- ⑥指示書
- ⑦撮影図面
- ⑧撮影・公開フロー

⑦ 撮影図面

撮影シーンの確認

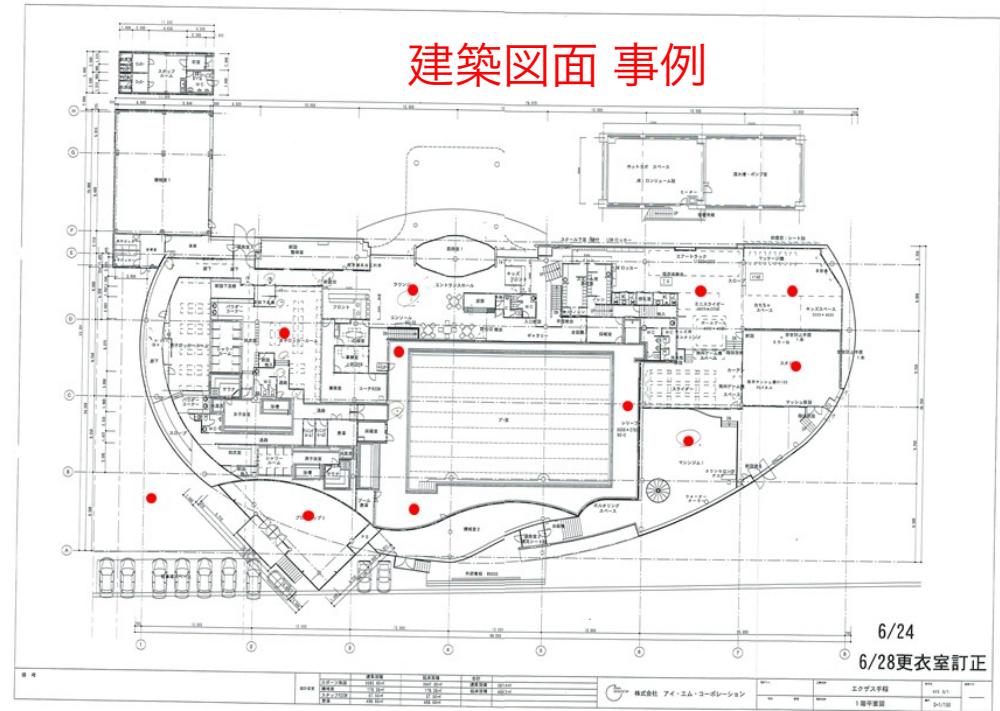
撮影データをお送り頂く際、撮影ポイントが分かる図面をお送りください。

図面はフロアマップや建物図面、手書きの図面などで結構です。

フロアマップ 例

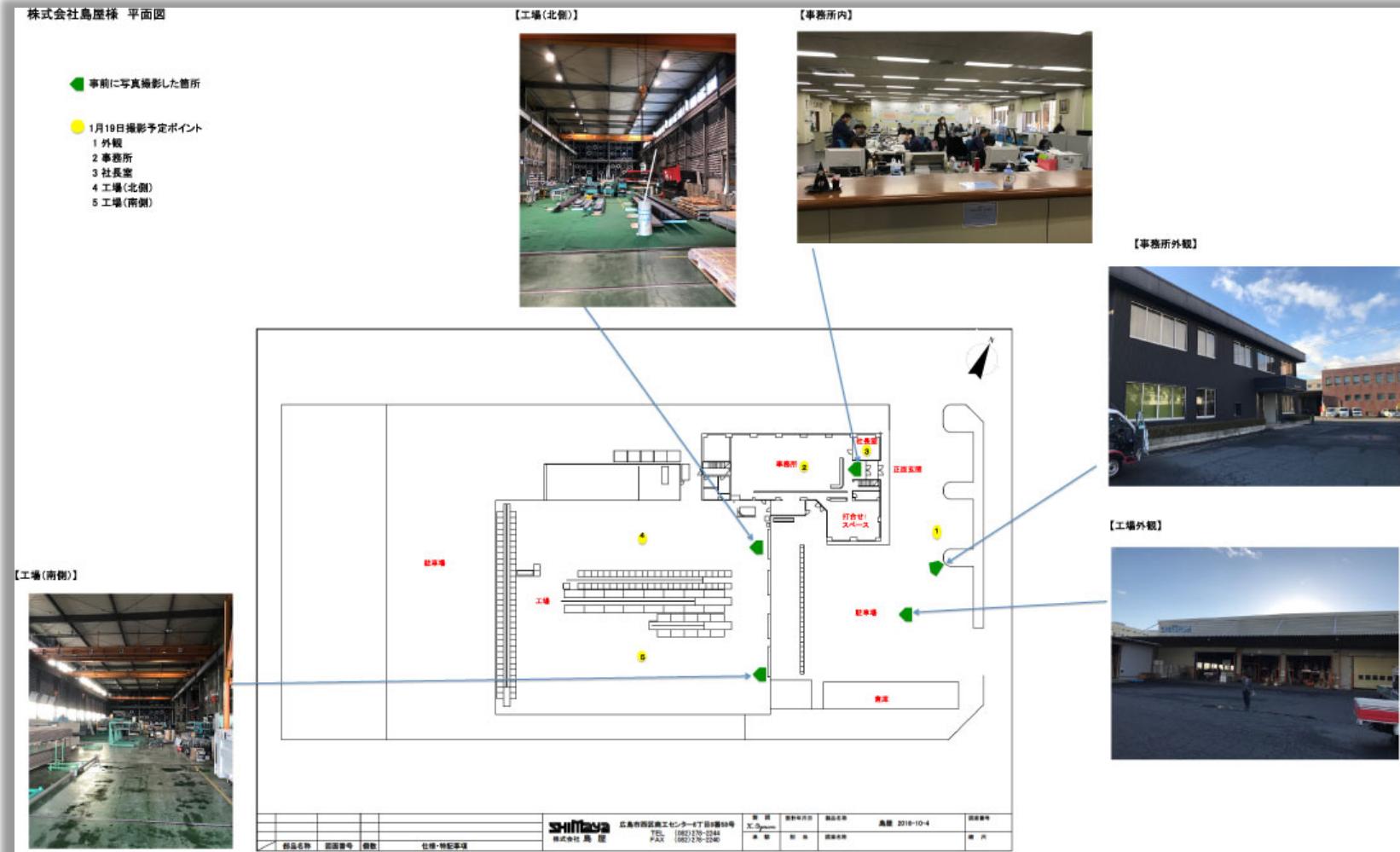


建築図面 事例



⑦ 撮影図面

事例 株式会社島屋



- ①撮影機材表
- ②機材組み立て方法
- ③撮影方法
- ④撮影時の注意点
- ⑤制作フォルダ
- ⑥指示書
- ⑦撮影図面
- ⑧撮影・公開フロー

⑧ 撮影・公開フロー

※現在、**共有管理システム**構築中のため、制作データをギガファイル便にてご送信ください。

	顧客	パートナー	制作
1	■VR導入希望 ⇒	<ul style="list-style-type: none"> ■訪問査定／ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容、オプション内容のお伝え ・撮影箇所の確認 ・希望の導入オプションを確認 ・オプションの挿入箇所を現場にて確認 	
2		<ul style="list-style-type: none"> ■必要書類 お客様へメール送信 <ul style="list-style-type: none"> ・お見積書 ・申込書兼契約書 ・利用確認書 	
3	■必要書類記入 FAX 送信 ⇒ ・申込書兼契約書 ・利用確認書	<ul style="list-style-type: none"> ■必要書類の回収 お客様よりFAX 受信 <ul style="list-style-type: none"> ・申込書兼契約書 ・利用確認書 	
4		<ul style="list-style-type: none"> ■電話にて、撮影日のご希望日を確認 ※外観を撮影する場合、天候を考慮し、撮影希望日を2日間抑える。 	
5	撮影日確定 ⇒	撮影	
6		<ul style="list-style-type: none"> ■パートナー制作 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングシート記入 ・写真データ フォルダ分け ・ポップアップ画像、mp4動画 作成 ・フロアマップ 作成 ・バナー、リンク先、その他情報 作成 ・撮影箇所図面 作成 ・オプション指示画像 作成 	
7		<VR制作 発注> 共有管理システム 制作データアップロード ⇒	<VR制作 受注> パノラマ制作／VRツアー制作
8		(注意) パノズレで修正不可の場合、再撮影	
9			おおよそ1週間～2週間でサンプル公開
10	VRサンプル確認	←VRサンプル 内容確認 URL送信	←VRサンプル URL送信
11	修正希望 ⇒	修正依頼 ⇒	修正作業
12	VRサンプル 修正内容確認	←VRサンプル 修正内容確認 送信	←VRサンプル修正版 URL送信
13	修正サンプル確認 ⇒	修正サンプル確認 ⇒	原則として修正は2回まで
14	納品完了	← お客様へ公開のお伝え	← 修正完了／公開